

# 委託事業実施内容報告書

## 平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【日本語教室の設置運営】

受託団体名 有限会社アンビック/ベルエアー外語学院

#### 1 事業の趣旨・目的

初級レベルの日本語文法、語彙、基本構文を学習しながら、日本語 4 技能のうち特に話す、聞く、読むを主眼とし、職場、家庭、学校、地域などで今すぐ必要な日本語コミュニケーションの習得を目指し、日本事情と日本人の社会生活、日常生活などの異文化の理解を促し、日本語能力試験 4 級を目指す。

#### 2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月12日	ベルエアー外語内	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	募集方法、役割、テキスト、副教材、カリキュラムの検討	役割分担、テキスト、副教材、1日の進捗、チェックテストの内容決定
9月11日	ベルエアー外語内	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	カリキュラム補足検討と使用副教材打ち合わせ	終盤に向けて面接、履歴書の書き方などのプログラム追加
10月31日	ベルエアー外語内	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	実施の成果検討	チェックテストによる成果検討と今後について



日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	6月26日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	あいさつ・自己紹介 (ひらがな)
2	6月27日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	__は__です。 __は__ですか。 はいorいいえ(ひらがな)
3	7月03日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	数 電話番号 (ひらがな)
4	7月04日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	なんですか。 <u>名詞</u> です。 (ひらがな)
5	7月10日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	なんさいですか。__さんは__さいです。(カタカナ)
6	7月11日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	これ・それ・あれは__です。 (カタカナ)
7	7月17日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	__の__です。 (カタカナ)、ゴミの出し方説明会
8	7月18日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	今までの文型復習 (カタカナ)
9	7月24日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語1課 教科書を使って復習
10	7月25日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語2課 教科書を使って復習
11	8月07日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語3課文型1・2 こそあど
12	8月08日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語4課 (時間) 文型1・2
13	8月21日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語3課文型1・2 こそあど 漢字の読み方1
14	8月228日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語4課-1・2 漢字の読み方2
15	8月28日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語4課-3、4(動詞・否定・過去否定)
16	8月29日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	漢字の読み方3 漢字の読み方4、まとめテスト1回目
17	9月04日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語5課-1・2 漢字の読み方5
18	9月05日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語6課-1・2 漢字の読み方7
19	9月11日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語6課-3・4 漢字の読み方8
20	9月12日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語問題A(前回までの復習)7課-1 漢字の読み方9
21	9月18日	2時間	5人	ペルー人4人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語7課-2・3 漢字の読み方10、まとめテスト2回目
22	9月19日	2時間	5人	ペルー人4人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語8課-1・2(い形容詞・な形容詞) 漢字の読み方11
23	9月25日	2時間	5人	ペルー人5人 ボリビア人0人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語9課-1・2( ) 漢字の読み方12
24	9月26日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語10課 位置詞 漢字の読み方13
25	10月02日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語11課 助数詞 漢字の読み方14、まとめテスト3回目

26	10月03日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語12課 形容詞の整理 漢字の読み方15、面接
27	10月09日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語13課 助詞の整理 漢字の読み方16、面接
28	10月10日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語14課 て形 作文、スピーチ、面接、
29	10月16日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語15課、て形、ない形の整理、作文、スピーチ、面接
30	10月17日	2時間	6人	ペルー人5人 ボリビア人1人	教授者1人 補助者1人	みんなの日本語、作文、修了スピーチ

⑧ 特徴的な授業風景(2~3回分)





日本語4技能「聞く・話す・読む・書く」の中で、「聞く・話す」を中心に各課を進めた。また、特に現場で実際に接触すると想定される表現（指示のことば等）については時間を多めにとり、繰り返し学習した。

学習態度や努力については一部積極性に欠ける者もいたが、6名全員熱心であった。授業への参加がより積極的な研修生は日を重ねるごとに上達が見られるようになった。しかし内気な性格の受講生はどうしても自発的に発言する回数が少なく、こちらから促さないと発言できない場面もあった。前回、聞き取りに関して課題があったが、その点は市販の聞き取り教材（「初級からはじめよう 日本語会話トレーニング」アスク刊 等）を利用して、実際に想定される会話シーンを中心に聞き取り及び発話の練習を行うようにし、改善に努めた。全体的に長音（例：公園「こうえん」の「う」の音）や促音（例：切手「きって」の「っ」の音）の聞き取りを苦手としている者が多かった。

先に「～ないでください」を言えるように指導してから禁止の用語を勉強した。読めない漢字はあるにしても記号としてとらえて意味を理解していないと危険をとまなうのできちんと入れたい。生徒が自ら工場やアパートで許可・禁止されている事項に敏感になれるように宿題もだした。生徒が発する言葉は「～ないで

ください」という丁寧語だが、聴くのは「～するな」という辞書形(普通形)から変換した動詞になる。ます形から辞書形には問題なく変換できていたので問題はないと思う。今後の授業にも時々禁止のマークや交通表示などをとりいれて、生徒自身に「危険」を回避することを心がけてもらいたい。

街の地図を使って「近くに〇〇はありますか」「△△の横にあります」など、場所の説明をする文型の練習をした。「旅行会社」「クリーニング屋」「文房具屋」「本屋」「市役所」などまだ知らない場所を表す単語もあって予定より時間がかかったが、皆楽しそうに覚えながらやっていた。助詞抜けを含め助詞に関する間違いが多かった。敬語に関しては文型は「係長さんはいらっしゃいますか」という言い方だが、実際に役職に「さん」をつけるのは正しい言い方ではないので「〇〇係長はいらっしゃいますか」にした。接客の「いらっしゃいませ」という掛け声を意識している様子の人もいたが違いは理解していたようだ。

終盤に行った面接時のシミュレーションでは、個々人毎に短い質問をし、どのくらい答えられるかをチェックし、同時にマナー、自己PRの学習をしました。その後全体でみんなの見守る中、実際の面接形式で行って見ましたが、言われていることは大体の人が理解し、答える努力をしました。履歴書の書き方では、最低住所と名前は書けるようになりました。一般的な履歴書を使用し、ボールペンで書く、学歴、職歴、志望の動機欄、写真を貼るなどの基本的な事柄などを説明しました。

#### ⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
原 ケイラ	スペイン語(ペルー)	15年	30回	授業補助, 通訳、出欠管理、受講者との調整役

#### ⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
高橋裕子	沼津国際交流教会	日本語教育能力検定試験合格	15回	日本語指導者
植原百合子	ヒューマン日本語講師会	日本語教育能力検定試験合格	15回	日本語指導者

## 4 事業に対する評価について

### ① 当初の学習目標の達成状況

当初の目標のカリキュラムどおり、みんなの日本語初級 I、15 課まで終了し、筆記、口頭の定着度試験を実施したり、ゴミ分別、病院ロールプレイ、面接、履歴書の書き方等のアクティビティを入れ予定通りに行った。一部の学習者であったが、日本語能力試験4級程度と思われるものもいた。

### ② 学習者の習得状況

Aクラス(担任 植原百合子、高橋裕子、原ケイラ)

まとめテスト(平均点)			
1回	2回	3回	総合
82/100	80/100	84/100	82/100
日本を理解し、日本に溶け込もうとしている人ばかりで、会話には多少不正確なところがあっても、すぐに修正でき十分対応できる。			

実施日	内容	①	②	③	④	⑤	⑥
1 8/29	文字・語彙	68/80	62/80	68/80	64/80	70/80	74/80
	口頭	16/20	12/20	14/20	10/20	18/20	16/20
2 9/18	文字・語彙	64/80	64/80	66/80	60/80	68/80	70/80
	口頭	16/20	14/20	14/20	12/20	16/20	16/20
3 10/2	文字・語彙	68/80	64/80	64/80	68/80	72/80	70/80
	口頭	16/20	12/20	16/20	16/20	20/20	18/20

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

受講生とその周囲の関係にいい影響を及ぼすきっかけとなった。近隣に住んでいる同胞でも知らない、話したことがないなどありましたが、一緒に勉強し毎回会うようになり、色々なことが話せる仲間になっていったと思います。子供のこと、学校のこと、友達のことなども話していました。より就職に役立つことを目標に面接の受け方など終盤に取り入れましたが、大体のことは理解でき、短い文章では返答できるようになっていました。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

他の日本語教室と連携し、面接、履歴書の書き方などの指導を行い、書くことは難しいものの、聞く、話すは短い文章ながら十分に理解できるものであった。

住んでいる市町村によりゴミの出し方のパンフレットがあるもののあまりよく理解していない人が多く、7月17日、大手町自治会の方1名に説明をお願いし、通訳の補助者を介し、受講者の理解を得た。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

A 現状 去年と比べると既に仕事の都合で日本に住むことが困難になり、帰国した人も多いが、そこでの問題として帰国しても子供が母語ができないので、同じ年のクラスに入れられない子供、いじめられてしまう子供がほとんどで、母国語の指導の大切さを逆に感じました。また、何年も日本に住んでいるのにほとんど日本語のできない人も多く、就職のためには日本語の能力の大切さを切実に感じている人も増えてきて熱心に勉強するようになっている。今までは、外国人の人材派遣会社自体があまり従業員の日本語能力に関心がないところが多く、今般のような経済状況で、派遣先の会社から日本語能力のないもの順に切られていく状況になり、急にあわてている様子も見られ、業務の都合上皆の都合の良い時間、曜日

の問題があるものの、人材派遣会社内での日本文化、習慣も含めた日本語教室実施の提案、また、研修生・実習生がしているような来日時日本語研修などを派遣会社、キリスト教会にも提案していくことにより最低限の基礎力をつけることの重要性を認識してもらえるように努力していきたいと思います。

## B 今後の課題

前回、聞き取りに関して課題があったが、その点は市販の聞き取り教材(「初級からはじめよう 日本語会話トレーニング」アスク刊 等)を利用して、実際に想定される会話シーンを中心に聞き取り及び発話の練習を行うようにし、改善に努めた。全体的に長音(例:公園「こうえん」の「う」の音)や促音(例:切手「きつて」の「っ」の音)の聞き取りを苦手としている者が多かった。

昨年に比べるとアルバイトの短期の仕事が増えてきていて、休みの日なら続けたいと希望する受講者がほとんどではあるが、受講者の確保・ニーズの変化に目をそらさずやっていきたい。また、子供、未就学の子供の受け入れ、日本語クラスの提供により、日本の文化、習慣を教え、親にも日本語を通して教育の大切さを伝えていきたい。また、工場見学などにより外国人の働く職場としての幅を広げよう。また、仕事以外でもっと彼らの抱えている問題点を吸い上げ対応できるようにしたい。

### a. 今後の活動予定, 展望

受講生の地域や職場・学校とかかわりを持って展開していきたい。それぞれの環境と密着した授業をすること。ひとりひとりが自分の生活に役立てるようにしたい。常識の違い(マナー)や日本文化も続けて教えていきたい。未就学者の把握により未就学の子供、来日したばかりの子供、帰国予定の子供に対する母語指導なども必要と思われる。職業訓練センターとの連携により、より広く広報活動ができることがわかり、提携してゆきたい。

## ③その他参考資料

### 面接用インタビュー練習

名前( )

1. お名前は？
2. お国はどちらですか。→くには どこですか。
3. 今日何で(なんで／なにで)来ましたか。
4. いつ日本へ来ましたか。
5. 昨日、何をしましたか。
6. 日本へ来る前に、どんな仕事をしていましたか(何をしていましたか)。



7. 趣味はなんですか。
8. 日本での滞在年数、今後の予定
9. 日本ではどんな仕事をしていましたか
10. どんな仕事を希望していますか
11. 家族は何人で何をしていますか
12. 自己 PR

服装、面接室への入り方、着席

### 日本語教室講座アンケート

1. 総評 名前

① コース全般についての感想をお聞かせください。 A. 大変満足 6人      B. まあまあ 0人      C. 大変不満
② コースで改善すべきだと思う点があればお聞かせください。 A. 特になし 6名      B. レッスン内容
③ 現在のクラスの曜日時間帯はどうでしょうか。 A. 現状でよい 6名      B. 曜日を変えたい      C. 時間帯を変えたい 名 希望の曜日、時間帯を教えてください。 (土、日)曜日 (13:00 時)からの時間帯

2. 研修形態

① 1回あたりのレッスン時間はどうですか。 A. ちょうど良い 6人 B. 長い C. 短い
② 1週間あたりのレッスン頻度はどうですか A. ちょうど良い 5人 B. 多い C. 少ない 1人
③ 1クラスあたりの受講者の数はどうですか。 A. ちょうど良い 6人 B. 多い C. 少ない
④ 現在のクラスは終了しますが、引き続き次のコースを受講希望する、しないを○で囲んでください。      引き続き受講の希望    有り 6人    無し 0人

3. クラスについて

クラス状況	1. 講師と皆さんが発言するバランスはどうですか	A 6人 B C
	2. 講師はあなたが発言できるように努力していますか。	A 6人 B C
	3. あなたは講師に満足していますか。	A 6人 B C

5. カリキュラム

1. 教材の難易度はどうですか。 A. ちょうど良い 3人 B. 少し難しい 2人 C. 少し易しい
2. レッスン内容はあなたのニーズにあっていますか。

A. 合っている 4人 B. 大体合っている 2人 C. 合っていない

3. あなたはクラスで十分に話していますか。

A. 十分に話している 6人 B. まあまあ話している 人 C. あまり話していない

6. その他、ご意見ご要望があればお書きください。

- \* 子供クラスがあれば受けさせたい
- \* 次のクラスがあれば受けたい
- \* もう一度最初から受けたい
- \* 仕事に役立つことをもっと入れてほしい
- \* ひらがな、カタカナは完全に覚えたので勉強を続けていきたい
- \* 日本人ともっと交流する場がほしい
- \* 母語を理解してくれる人がいてよかった
- \* 次回は友達を誘いたい
- \* 新しい友達ができた

ご協力ありがとうございました。

ベルエアー外語学院

## 日本語初級レッスン受講者募集

### 募集コース

- ・ Aクラス 毎週土曜日、午後 13時から 15時の 2時間、  
計 30回、60時間

定員 10名、毎回出席できる人

スタート予定日: 2010年 6月 12日、クラスのスケジュールを渡します。

レッスン場所: 沼津市大手町 3-5-5 Dope3F ベルエアー外語学院内。

場所は参加人数により決定します。

レッスン料: 無料

担当講師: ペルー人と日本人の 2名

申し込み先: 申し込みは **Fax(055-951-6127)** 或いは [belair@yr.tnc.ne.jp](mailto:belair@yr.tnc.ne.jp) へお願いします。

名前、住所、電話番号を記入のこと。

〒410-0801 沼津市大手町 3-5-5

ベルエアー外語学院 川口

Tel 055-951-6996 Fax 055-951-6127

